

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊勢崎事業所		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	伊勢崎事業所の強みは、ポルトガル語・スペイン語・英語・日本語など多言語に対応できることです。	支援ではお子様の言語に合わせて言葉のやりとりや、ソーシャルスキルの向上の支援を行うことができます。	さまざまな課題やライフステージに応じた適切な支援を今後も展開してまいります。
2	伊勢崎事業所では信頼関係を大切にしています。	ご利用者様やご家族が安心して支援を受けることができると本来の力を発揮することができ、より目標に向かうことができると考えます。支援後のフィードバックではその日にあったことだけでなく、どんなことでも気軽に話ができるよう信頼関係の構築に努めています。	今後はさらにどの職員に話をしても必要な情報が把握されている状態にする為、こまめな情報共有を行ってまいります。
3	関係機関との連携	必要に応じて相談員、福祉行政機関、児童相談、保健センター、発達支援センター、教育委員会、学校、こども園などと連携を取りながら支援します。	関係機関との連携をさらに強めるため、ご挨拶に伺うなど活動の内容を共有するなど定期的なやりとりを行っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内がワンフロアであり天井が高い為、他の支援の様子や声がよくわかり、集中できない場面があります。	支援スペースに広さがある為、グループでの活動をのびのび行うことができるが、個人で集中するには気になってしまう。	必要に応じて個室を用いたり、パーティションで区切るなどして集中できる環境を作るようにしています。
2	施設の老朽化	施設の老朽化に伴い、一部修理が必要な部分があります。	事業所の移転を行う予定です。設備面の充実も行います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート「きらり」伊勢崎事業所

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 16

回収数 3

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2		1		外部活動のためのスペースは足りません。	引き続き、利用の曜日や時間の調整を行い、パーティションを使用するなど環境設定に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3					引き続き、当該専門職の配置を前向きに検討いたします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					ガラス戸があるので飛散防止フィルムの貼付を検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					引き続き、ご要望や課題に沿って客観的な「計画」が作成できるよう努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					引き続き、プログラムが固定化しないように職員間で話し合いを行いながらより良い支援の構築に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					ご要望がありましたら、前向きに検討いたします。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					より、わかりやすく伝えることができるように努めてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					引き続き、こまめに情報共有を行いながらより良い支援が構築できるよう努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					より、きめ細やかな支援ができるように努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					季節のイベントなどを通して引き続き交流が待てるように努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。				1		関係機関との連携に力を入れております。今後、交流や活動をする機会を設けられるように努めてまいります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					今後も丁寧でわかりやすい説明を心がけてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					今後も丁寧でわかりやすい説明を心がけてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		1			今後もニーズに応じてペアレントトレーニングやご家族で参加できる研修会や情報提供の機会を設けられるよう、努めてまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3					今後もご満足いただけるよう、努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					今後も定期的なモニタリングに加えて、ニーズに応じてご相談や面談を行えるように努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					ご本人やご家族のご意向を大切にすることを忘れず、今後もご満足いただけるよう、努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	3					ご家族向けのイベントは開催しておりますが、きょうだいへの支援について今後前向きに検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					今後も相談や申し入れの際に迅速に対応できるよう、窓口やシステムを周知・説明できるように努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					今後もご満足いただけるよう、努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					今後もご満足いただけるよう、努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					今後も個人情報の取り扱いには十分に留意してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2		1			定期的にマニュアルを見直して、訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1				避難訓練や不審者対応など様々な種類の訓練を定期的に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					今後もご利用者を安全にお預かりすることができるよう、努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1				事故やけがのないよう努めていますが、万一のトラブル発生時には速やかな連絡ができるように今後も努めてまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					今後も安心して通所することができるよう、努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					今後もご利用者が楽しみながら通所することができるよう、職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					今後もご満足いただけるよう、努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート「きらり」伊勢崎事業所			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1			4
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	ご利用者様の様子に合わせて小集団活動を行うなどしています。	法令上問題なく職員が配置されていますが、より良い支援を行うため、職員の増員を検討し定期的に採用面接を行っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	ご利用者様が使用する場所にはわかりやすくイラストを入れた説明を書く等の工夫をしています。	段差や劣化している部分などの危険箇所を定期的に検査しながら、安全でわかりやすい環境が作れるように努めてまいります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	ご利用者様の活動に合わせて、環境をその都度変化させながら、心地よく過ごせる環境になるよう工夫しています。	今後さらに集中できる環境を確保するため移転を計画中です。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	必要に応じて個室での支援ができるようにしています。	今後もより良い支援が行えるように努めてまいります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		業務について目標の設定やどのような活動だったかを振り返る会議を定期的に行っています。	今後もより良い支援が行えるよう職員一同努めてまいります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	普段から保護者の方が気軽に話しやすい関係を築けるように努めてまいります。	毎年行っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的に会議を開催して、職員同士で意見を出し合う機会を設けております。	今後もより良い支援を提供できるよう努めてまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者による外部評価を行っておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	社内に勤務年数に応じて受講することができる研修があり、職員が参加できるようにしております。	今後外部での研修等にも参加することができるように努めてまいります。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		支援プログラムの作成、公表を行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		定期的なモニタリングやアセスメントに加えて必要に応じて事業所内相談が行えることを保護者の方々にお伝えしています。	職員全体で会議を行ったり、担当者会議に参加したり積極的に行うことでより客観的に分析して児童発達支援計画を作成できるように努めております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当職員と他職員でこまめな会議を行うことで共通理解ができるように努めてまいります。	今後もより良い支援が提供できるよう、情報を共有しながら努めてまいります。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画の内容についてその都度会議を行いながら、内容を共有できるようにし、計画に沿った支援が行われるように工夫しています。	今後もより良い支援が提供できるよう、情報を共有しながら努めてまいります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	日々の行動観察等を共有する時間を設けています。	アセスメントのツールをさらにシステム化していくことで確認をしやすい仕組みをつくっていきけるよう努めてまいります。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ご利用者様に必要な項目が適切に設定されるよう、会議を行いより具体的に目標に向かって目指せるように努めてまいります。	今後もより良い支援が提供できるよう努めてまいります。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全体で話し合っ活動プログラムを立案しております。	今後もより良い支援が提供できるよう努めてまいります。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		定期的にプログラムについて話し合いを行い、固定化しないように工夫しております。	今後もより良い支援が提供できるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別での成果などが集団の中で生かせるように活動内容を考え、それぞれ組み合わせながら支援することを心がけております。	それぞれの目標にあった個別や集団での活動が無理なく進められるように今後も努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝、朝礼でその日の流れを話し合ったり、前日の支援の様子などを共有する時間を設けるようにしています。	朝礼で話し合った内容をさらに深堀る為に日中会議を行うことがありますが、職員同士連携して支援を行うことができるように今後も努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	翌朝の朝礼で支援の振り返りを行い今後の支援に生かせるよう、気づいた点について共有しています。	今後も支援について話し合いを行いながら、職員間で連携を取っていくことができるように努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		会社内で支援記録を行うツールがある為、毎回記録を残しています。	支援記録に基づいて話し合いが行えるように今後もさらに工夫していきたいと考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、支援の見直しを行っております。	今後もより良い支援計画が作成できるよう努めてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		管理者や児童発達管理責任者と共に担当することの多い職員が同席できる場合には積極的に参加できるように調整しています。	今後もより良い会議が開催されるよう、ご利用者様の状況を理解した職員が参加することができるよう、努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		関係機関に積極的のご挨拶に伺い、連携することができる体制を整えることに力を入れております。	まだ繋がることのできていない関係機関もある為、今後かかわりを持っていけるように務めてまいります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		保育所や幼稚園等と必要に応じてやりとりを行い、スムーズに移行できるよう情報の共有を行っております。	今後も様々な機関と繋がりながら、支援を行うことができるように努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要に応じて情報共有を行っております。	今後も保護者やご本人のニーズに合わせて必要に応じて情報共有を行っております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じて長期休みや下校時間などについて、カレンダーを作成して情報共有に努めております。	今後も情報共有をごまめに行い連絡調整等を適切に行っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて支援内容等情報の共有を行っております。	今後もスムーズな移行に繋がるよう、努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	必要に応じて支援内容等情報の共有を行っております。	今後もスムーズな移行に繋がるよう、努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じて連携を図り、スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けてまいります。	今後必要に応じて連携を図っていききたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	今後保護者の方やご利用者様の方からのニーズに合わせて、必要に応じて前向きに検討してまいります。	今後必要に応じてこのような機会を設けてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	今後ニーズに合わせて検討してまいります。	今後ニーズに合わせて検討してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	支援後のフィードバック時には丁寧にやりとりができるように心がけております。	今後も発達の状況や課題について共通理解が持てるようにコミュニケーションを大切にしております。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	今後ニーズに合わせてご家族に対してもプログラム等をご提供できるよう検討してまいります。	今後ニーズに応じて前向きに検討してまいります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧に説明することを心がけております。	今後も丁寧に説明すること、正しくご理解いただくことを目標に努めてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		ご家族やご本人のご意向をお伺いする機会を会議などの際に設けるようにしています。	今後もより当事者の意思や意向を尊重した支援を展開してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		支援計画が完成した際には、ご説明を行い保護者の方からサインをいただき、同意を得ております。	今後もより、わかりやすい説明を行えるよう工夫し、安心して支援を受けることができるように努めてまいります。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて面談を行いご家族とお話をする時間を設けたり、支援の様子を共に見ながら悩み等についてお話ができるようにしております。	今後もご家族のニーズに合わせて支援を展開してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3	ご家族で参加できるイベントは季節ごとに開催していますが、保護者の方向土で交流することを目的とした機軸は設けていなかった為、今後ニーズに合わせて検討してまいります。	今後もご家族のニーズに合わせて支援を展開してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		ご相談窓口等についてお知らせはありますが、周知できていない可能性がある為、今後対応を考えていきたいと思います。	今後も相談や申し入れに対して、迅速かつ適切に対応することができるよう努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		Facebookやインスタグラムを用いて行事の内容や活動の様子をアップし、連絡等を行うようにしております。	今後もご家族のニーズに合わせてHPやSNS等を活用できるようにしてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時には個人情報の取扱いについて同意書にサインをいただき、事業所内では鍵付きの書庫で管理しております。	今後も個人情報の取扱いに十分留意して運営してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		目で見て情報を得ることができるような工夫や、必要に応じて様々な工夫を行っております。	今後もよりわかりやすい情報の伝達方法を用いていきたいと思います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	今後ニーズに応じて地域の方により知っていただけるような活動を検討してまいります。	今後も地域に根差した事業所である為、さまざまな活動を検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	定期的に訓練を行い、報告書を作成しております。	今後も非常時に落ち着いて行動することができるよう、定期的に訓練を行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	BCPを策定し、非常災害時に備え、定期的に訓練を行い、報告書を作成しております。	今後も非常時に落ち着いて行動することができるよう、定期的に訓練を行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントシートを用いてご利用者様の状況等を確認・把握できるようにしております。	今後も適切にご利用者様の状況を把握し、安全にお預かりして支援を提供することができるように努めてまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	アセスメントシートを用いてご利用者様の状況等を確認・把握できるようにしております。	今後も適切にご利用者様の状況を把握し、安全にお預かりして支援を提供することができるように努めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、定期的に研修を行っております。	今後も定期的に研修を行ってまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		緊急時の避難場所をお知らせしております。毎月の避難訓練を行い、参加したご利用者様のご家族には周知しております。	今後も定期的に情報を更新し、周知徹底を心がけてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		ヒヤリハットがあった際には事業所内で話し合いを行うようにし、報告書を作成し再発防止に努めてまいります。	今後もヒヤリハットについて、気づきを大切に大きな事故につながらないように努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に虐待防止の研修を行っております。職員間で話し合いを多く設けるようにし、意見を述べやすい環境設定を行えるように努めております。	今後も職員間での連携を強め、虐待防止に努めてまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に身体拘束についての同意書について説明を行い、サインをいただいた上で児童発達支援計画に記載しております。	今後も丁寧でわかりやすい説明を心がけ、十分に理解を得たうえで、児童発達支援計画を作成してまいります。	